

JAL愛媛争議団を支える会



ニュース

勝利解決の日まで たたかう

発行：JAL 不当解雇とたかう愛媛争議団を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館 3 F 愛媛労連内
松山市三番町8-10-2

私
も
応援
しま
す



10月17日(木)5時起床 漂う朝霧の中、
我が家の小さなウッドデッキで優しい音楽
を聞きながら、「不味いコーヒー」を飲む、
時おり東の方からヒンヤリとした風が頬を
撫でて西の方に流れていく、こんな時が私に
とって「至福」の時間です。

東の空が明るくなるまでウッドデッキで過ごし、明るくなると、近くのコンビニまでのウォーキング、道沿いには耕作放棄地がこの頃増えてきた。そこにブタクサの群生がやたらと目立ち、将来の農業(食料)が心配です。往復4000歩、私にとってはちょうどいい運動量です。

ウォーキングが終わると、朝食の準備。準備と言っても「ヨーグルトと果実」と簡単なレシピ。

暮らしの中で、たたかう友を想う

西予市在住 水谷 漣

主にバナナとりんご、季節にでるみかんやイチゴなどを適当な大きさに切り、手製の小皿に盛り付ける。その上にヨーグルト、オートミール、きな粉をのせ、最後にアマニオイルと蜂蜜をたらす。長く続いている我が家の朝食の定番、妻も満足な様子です。

さて、大池ひとみさんと初めて出会ったのはいつ頃だったのか思い出せない。いつの間にか気軽に話せる間柄になっていました。大池ひとみさんは明るい人柄で、話のうまい方。聞いていて人の心を引き付ついている。そんな彼女からいつも元気をもらっている私です。

これまでも、これからも、家族、友、皆で応援しています。

がんばれ！ 大池ひとみさん

いつも変わらぬご支援を本当にありがとうございます。心から感謝いたします。2024年もあと一ヶ月とちょうど終わります。毎年「今年中には解決します」と宣言しつつ14年。

JHUの仲間は全員還暦を過ぎ、ご支援いただいている皆様も平等に歳を重ねていらっしゃいます。早く解放させてあげた

いと思つてはいるのですが、
遅々として進まない会社との交
渉。いつまで続くのやら、これ
ばっかりは誰にもわかりませ
ん。皆さんの応援を背に、この
先も諦めずに前を向いて進んで
まいります。引き続き、ご自分
の体力に合わせたご支援をどう
ぞよろしくお願ひ致します。

「愛媛支える会ニュース」は、
我々客室乗務員が日頃どんな生

「愛媛支える会ニユース」は、我々客室乗務員が日頃どんな生活をしているのか、どういう仕事をしてきたのか、あまり馴染みのない職業を身近に感じても

らうために、近況や日頃感じていることを知らせてほしいといふリクエストにお応えし、交替で文章をしたためたのがきづかけでした。その数も今回で74号。寄せていただいた応援メツセージは72。終結したあかつきには、これを装丁して残したいねと話しています。我々争議団と応援してくださいさつている方々の血と涙の結晶ですから。「ああ、こんなことあつたよなあ」と笑つて思い出せる日がくるまで頑張ります。

(裏面に続く)

皆さんの応援を背に、前を向いて

JAL被解雇者労働組合
西予市在住 大池ひとみ

2024年11月20日

前置きが長くなりましたが、今回は日本では絶対にないでありますという体験のお話です。解雇されて、JALからは1円のお給料ももらはず路頭に放り出されたわけですから、何稼ぐ方法をと選んだ仕事が旅行に付き添う添乗員でした。



当時私は、月2回のヨーロッパ勤務という契約で、それなりに楽しく仕事をさせていただいていました。あるとき、日本からローマに降り立ち、バスでミラノまで移動しながら観光地を回る10日間のツアーツアの添乗を任せられました。ヴェネチアのホテルに着いたあと、ドライバーさんが「20ユーロ貸してほしい」と声をかけてきました。仕事中は、お食事もすべて賄つてもらえるし、お金を使うことはないはずなのに何に使うのだろう。しかも20ユーロなんて大した金額じゃないし、どうしたものかと思案した結果、私は丁寧にお断りをしました。彼はあっさり引き下がり、なんだ、それほどひつ迫したことでもないのかと胸をなでおろしました。

たつた1枚のコピーで解雇

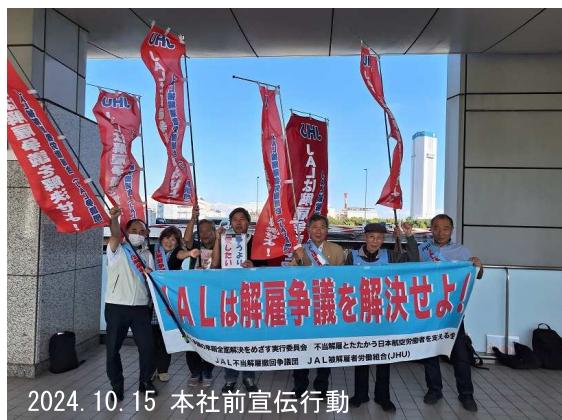
観光でヴェネチアに入るときには、関所みたいなところがつて入島料を支払わなければなりません。ドライバーが関所に

「これ、コピーじゃないの？」と彼に聞いただと、「いや、別々にもらつたものだ」と言い張ります。このまま日本に持ち帰つて提出したら、私の落ち度になるのは必至です。困つた私は現地のツアーツア会社に連絡し、これで良いのか確認するようお願いしました。直に連絡があり、「これはコピーだ。あとのことはこちらで処理するから」と言われ、ホットしたのも束の間、ドライバーが「あんた、会社に連絡したんだね」と声をかけてきました。「私はよくわからなかつたので、確認の電話をしただけよ」と答えると「俺はクビになつた」と。書類1枚、金額にして数ユーロか數十ユーロをしまかしただけで、即日解雇????

彼は半泣きの顔で、「俺は、ここから自費でローマまで帰らなければいけない」と言うのです。「20ユーロ貸して」というくらいお金に困つていた彼が、ヴェネチアからローマまでの旅費を工面できるのか?「お金、大丈夫?」と聞いたら、「シ」(イタリア語でイエス)。と力なく答えた彼。今考えれば、50ユーロくらいお餞別でもあげればよかつたかなと思うけれど、その時はそんな余裕もなく、「気を付けて帰つてね。次の仕事、早く見つかるといいね」というのが精いっぱいでした。

私はいけないことをしてしまつたのか?まさか、たつた1枚のコピーで解雇とは???

たぶん日本では、「これから二



15日、JAL本社前で鳥取社長に向かつて訴えたことは、「私

たちは経験という大事な財産をたくさん持つていて、(東亜国内航空出身で国際線を知らない)鳥取社長にはぜひ会つて話を聞いてほしい、職場を回つて生の声を聞いてほしい」、そして、機内誌に寄せてある幼い頃のいちご狩りの体験を『何物にも代え難い喜び』と表現しているあなたの言葉を借りて『何物にも代え難い苦しみ』を14年味わつてゐる我々の気持ちに少しでも寄り添つてほしいと。伝わつたかな、伝わらないだろなあ。

出向き、証明書をもらつてきてくれます。2日連続でヴェネチアに渡つたので書類は2通です。ところがドライバーから受け取つた書類は全く同じものが2枚、たぶん1枚はコピーであります。ところがドライバーから受ろうと察しがつきました。日付も番号も同じなのです。

「これ、コピーじゃないの?」と彼に聞いただと、「いや、別々にもらつたものだ」と言い張ります。このまま日本に持ち帰つて提出したら、私の落ち度になるのは必至です。困つた私は現地のツアーツア会社に連絡し、これで良いのか確認するようお願いしました。直に連絡があり、「これはコピーだ。あとのことはこちらで処理するから」と声をかけてきました。「私はよくわからなかつたので、確認の電話をしただけよ」と答えると「俺はクビになつた」と。書類1枚、金額にして数ユーロか數十ユーロをしまかしただけで、即日解雇????

『ドライバーを一発で解雇させた添乗員』として、歴史に名が残るかもしれない私の体験談でしょう。。。『ドライバーを一発で解雇させた添乗員』として、歴史に名が残るかもしれない私の体験談でした。